

事務事業評価シート（評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名				火葬場施設管理運営事業				②事業番号		3204											
③事業類型		4. 施設等維持管理事業				④開始年度		昭和 31 年度		⑤終了予定年度		平成 30 年度		設定なし							
⑥根拠法令等		☒ 法令		☐ 条例		☐ 規則		要綱		計画等		その他		法令等の名称		墓地埋葬等に関する法律					
⑦実施手法		直営		☐ 全部委託		一部委託		補助・負担		その他											
⑧関連予算科目コード				款		4		項		1		目		7		細目		1			
⑨担当部名				⑩担当課名														会計		一般会計	
市民生活環境部				環境整備課																	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 人体を火葬する人	① 人体火葬件数	件
② 動物を火葬する市民	② 動物を火葬する市民	件
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
小動物の火葬許可書の発行。 樽井火葬場及び西信達火葬場の管理運営を委託する。	① 発行件数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
火葬場施設はその特殊性を鑑み、常に良好な状態を確保しておく。 火葬場の適切な維持管理を行う。	① 発行件数	件
	計算式	
	② 火葬炉故障件数	件
	計算式	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
円滑、安全に火葬を実施する。 新火葬場が建設されるまでの間、施設を適切に維持管理する。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします
	施策中	8 火葬場の整備
	施策小	1 新火葬場の建設

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R1目標	
対象指標①	人体火葬件数	件	620	688	574	0	0	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	動物を火葬する市民	件	308	293	311	0	0	
活動指標①	発行件数	件	308	293	311	0	0	
活動指標②								令和元年度より、泉南阪南共立火葬場に移行に伴い、指定管理事業へ引継。
活動指標③								
成果指標①	発行件数	件	308	293	311	0	0	
成果指標②	火葬炉故障件数	件	0	0	0	0	0	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.28	0.28	0.17	0.00	0.00	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	令和元年度より、泉南阪南共立火葬場に移行に伴い、運営は指定管理事業へ、跡地管理は火葬場維持管理事業へ引継。
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,249	2,248	1,378	0	0	
	直接事業費	千円	17,669	18,097	17,238	0	0	令和元年度より、泉南阪南共立火葬場に移行に伴い、運営は指定管理事業へ、跡地管理は火葬場維持管理事業へ引継。
	総事業費	千円	19,918	20,345	18,616	0	0	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	令和元年度より、泉南阪南共立火葬場に移行に伴い、運営は指定管理事業へ、跡地管理は火葬場維持管理事業へ引継。
	府支出金	千円	115	115	115	0	0	
	受益者負担金	千円	9,882	9,882	9,882	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	9,921	10,348	8,619	0	0	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	法律に則り、火葬する必要があるため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	施設の老朽化に伴い修繕工事を要するものには速やかに施行するとともに、新火葬場の建設を進めている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	平成30年度中に現在の火葬場(樽井・西信達)を廃止し、阪南市と共立火葬場を建設、平成31年4月から、供用開始を行った

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等						
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。		ア. する アイ. ある程度 ウ. しない	施設を適切に維持管理している。					
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)		ア. はい アイ. ある程度 ウ. いいえ	現状では民間の火葬施設が無く行政が行う必要がある。					
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)		ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	火葬は市民生活に必要不可欠である。					
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。		ア. 影響がある アイ. ある程度 ウ. ない	火葬は市民生活に必要不可欠であるため廃止できない。					

[2]有効性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	A
⑤期待どおりの成果が得られていますか。		ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	点検や清掃を行い維持できている。また円滑、安全に火葬を実施できている。					
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)		ア. ある アイ. ない	阪南市と共立火葬場を計画している。(平成31年度中共用開始予定)					
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。		ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—					

[3]効率性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	A
⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)		ア. ある イ. ない	施設の経年劣化があるものの、不具合箇所の修繕等を随時行っている。					
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)		ア. ある イ. ない	平成23年10月に市民外火葬場使用料及び動物火葬手数料を改定し適正化に努めている。					

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当
	A	阪南市と共立火葬場を計画、平成31年4月に供用開始したことに伴い、本事業は終了し、運営は指定管理事業へ、火葬場跡地に関しては、火葬場管理事業へ引継を行った。	B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞	
ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (30 年まで) エ. 休止 (年から) オ. 廃止 (年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	